

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年3月21日

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C	
横断的な課題	人口減少下における持続可能な地域づくり					
地域重点政策	人口減少下における持続可能な地域づくり					木曽地域振興局
実施機関	木曽地域振興局 企画振興課			担当課	所属	企画振興課
事業名	ふるさとの思い出品造成事業			電話	0264-25-2212(直通)	
				E-mail	<a href="mailto:kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要	目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子どもたちに地域資源(もの、技術)を活用した、ふるさとの思い出品を配付することにより、地域への想いを深め、地域定着・回帰を促進する。</li> <li>・子供たちが自ら思い出の品を考え、地元企業と協力し作成することにより、地域への愛着と地元企業の周知を促し、地域の産業振興、地域活性化へと繋げていく。</li> </ul>				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曽地域では、就学・就職を機にふるさとを離れてしまう者が多い。人口減少が加速している中、少子化対策、移住促進と併せ、若者の人口流出対策も課題となっている。</li> <li>・王滝村では児童数減少に伴い、王滝村中学校が休校となり、令和4年度から中学生は木曽町中学校へ編入している。小学校卒業と同時に地元を離れることになる児童に、地域への絆・想いを深め、地域定着・回帰を促進することが必要である。</li> <li>・毎年度、1町村にスポットをあて、町村固有の特産品(もの・技術)を活用し、記念品を製作している。製作した子供、保護者に地元企業を知ってもらう機会とし、また、地元の特産品の記念品を手元に置くことで、将来木曽地域への回路を促す手助けとなることを期待している。製作に関しては県と町村で協働し行うが、次年度以降については、町村の単独事業として繋げていく。</li> <li>・木曽地域振興局企画振興課では、毎年度、町村からの交流職員が担当する事業として位置づけており、R2は南木曽町、R3は木祖村、R4は木曽町からの交流職員が担当し、このノウハウを持ってそれぞれの町村へ戻り事業を継続させていくこととしている。今年度は王滝村からの交流職員が担当している。</li> <li>・R2年度は南木曽町を対象に、保育園入園の記念として、南木曽町の楢木工製作所の手形木製チャーム、南木曽町ねこ製作会の絵本バッグを製作、贈呈した。その後も出産祝い品として木曽産材木製品の贈呈、保育園の入園卒園時にけん玉やコマなどの木曽産製品を贈呈するなど、事業を継続している。</li> <li>・R3年度は木祖村を対象に小学校卒業時にマルオカ工業(株)の額縁とイーゼルの木工特産品を活用し、自らキャンパスに思い出の一枚を描き、贈呈した。その後も、業者と共同してイーゼル作成を継続している。</li> <li>・R4年度は木曽町を対象に、木曽青峰高校インテリア科の高校生に観光用のアームバックのデザインを依頼し、木曽青峰高校3年生へ卒業記念として贈呈した。また、木曽町の観光宣伝用パンフレットの封入袋として使用し、若者のデザインの発想で町をPRし、地域振興に繋げていく。今後も継続して木曽青峰高校インテリア科とアームバックの作成を行う。</li> </ul>				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈令和5年度:王滝村〉</li> <li>・王滝村の小学生が自ら作品を考え、木材加工を行う地元唯一の企業である王滝木材加工企業組合のサポートを得ながら、思い出の品を製作する。</li> <li>・製作品はコースター及びベンチとし、木曽五木であるヒノキ・サワラを使用する。</li> <li>・コースターについては、児童1人につき2個製作してもらい、完成した物にレーザー彫刻を行い、本人用と村施設設置用とする。</li> <li>・地元企業にはベンチのパーツ部品を作成してもらい、児童はこのパーツ部品を組み立てる工程とし、組み立て前のパーツ部品に児童たちの思い出を描画する。また、コースターやベンチの設置場所についても児童たちに考えてもらい、全ての工程に関わる。さらに地元の皆さんに手伝っていただくことで、地元に対する思い出、愛着を一層深める。</li> <li>・作品は、王滝小学校の交流スペース及び王滝村役場内へ展示するとともに、王滝木材加工企業組合のPRも含めたチラシを作成、王滝村内の全戸へ配付する。</li> <li>・次年度以降も、王滝村において継続してこの事業に取り組んでもらうための足掛かりとする。</li> <li>【今までの検討内容】</li> <li>・令和5年4月27日:事業案検討</li> <li>・令和5年5月29日:村役場職員3名と打合せ(事業説明・実施事業検討)</li> <li>・令和5年7月5日:村役場職員2名及び小学校教師2名と打合せ(事業説明・今後の日程調整・作品検討)</li> <li>・令和5年8月31日:村役場職員2名及び小学生8名教師5名へ事業説明(事業説明・作品検討)</li> <li>・令和5年10月26日:村役場職員2名及び小学生8名及び教師5名へ事業説明(作品決定・木工体験)</li> <li>・令和5年11月17日:村役場職員1名及び依頼先企業1名と打合せ(コースター作成打合せ・資材等依頼)</li> <li>・令和5年11月21日:コースター作り</li> <li>・令和5年12月22日:村役場職員2名及び教師1名最終打合せ</li> <li>・令和6年1月4日:作業募集チラシ作成(回状)</li> <li>・令和6年1月16日:ベンチ作り</li> <li>・令和6年1月24日:ベンチ設置場所確定(アンケート)</li> <li>・令和6年3月7日:ベンチ設置作業</li> <li>・令和6年3月15日:コースター配布(小学校終業式)</li> </ul>				
事業期間	令和5年11月 ~ 令和6年3月					
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	記念品製作	記念品:コースター製作材料費	80,000	板材30個分:30,000円 (小学生全児童10人+教員5人=15人×2枚=30枚) レーザー彫刻:30,000円 コースターくぼみ加工:20,000円		
		記念品:ベンチ製作材料費	360,000	板材加工・部品代@90,000×4脚分 (パーツごとに加工されたものを購入)		
		児童描画制作用消耗品	55,000	ヤスリ(15個×@1,000=15,000円)、ニス(@10,000円) 絵の具、筆セット(15人×@2,000=30,000円)		
	記念品PRチラシ作成	チラシ作成代	8,500	用紙代 1束2,200円 トナー代6,300円		
		チラシ作成(コピー代)	7,500	コピー代(王滝村全戸配付750部×@10=7,500円)		
合計			511,000			
達成状況及び	成果指標	目標値	成果	達成状況		
	王滝小学生へ記念品贈呈	10名	10名	● 達成 ○ 一部達成		
	住民協働での事業実施回数	1回以上	2回	○ 未達成		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材加工を行う王滝村唯一の企業である王滝木材加工企業組合協力のもと王滝村で使用する木製コースター及び木製アートベンチを作成した。</li> <li>・作品については何を作成するのか、誰のためにどこへ設置するのかを小学生に考えてもらい、全ての工程を小学生に実施してもらった。</li> <li>設置場所 木製コースター:まほろば珈琲(小学校)</li> <li>木製アートベンチ:まほろば珈琲(小学校)、保育園、公民館、保健センター</li> <li>・2社のメディアから取材があり、本事業の取り組みを広く周知することができた。</li> <li>・自分達が作成した木製コースター及び木製アートベンチを住民が集まる場所へ設置し地域で大切に使用していくことで、地域愛の醸成及び地域活性化が図れた。</li> </ul>					
今後の方向性	今後も王滝村独自で事業を継続して実施し、地域愛の醸成及び若者の地域定住を目指していく。					